

遮断部取り付けの手順_Dタイプ

地震時の 通電火災 を抑制するために

ピオマ感震ブレーカー

の設置を進めましょう！

【お問い合わせ先】

この動画は、ピオマ感震ブレーカーの取り付けに関する動画です。
ご不明な点等あれば、下記までお問い合わせください。

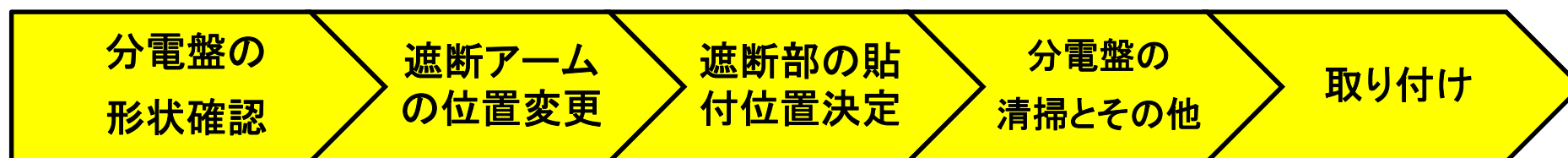
株式会社生方製作所 ピオマ係
フリーダイヤル(0120-279-170)
※土日祝を除く(9:00～17:00)

【注意】

各ご家庭の分電盤は、高い位置に取り付けられていることが多いです。
設置を行う際には、周りと安全に十分に配慮をして設置を行ってください。

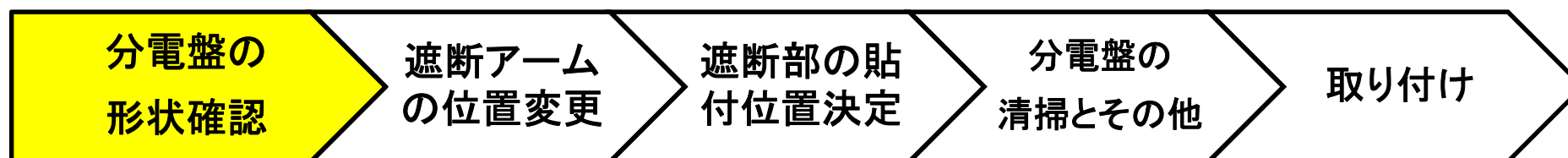


【遮断部取り付けの手順】



遮断部の取り付けは、上記手順（計5手順）に沿って進めてください。

【分電盤（漏電ブレーカー）の形状確認】



分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

取り付け



遮断部の設置可否の確認をするために必ず分電盤の漏電ブレーカーの周辺を見てください。このとき、主幹ブレーカーと漏電ブレーカーを間違わないよう注意しつつ御家庭の分電盤の形状を確認してください。
※地域によっては「主幹」のない分電盤もあります。

分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

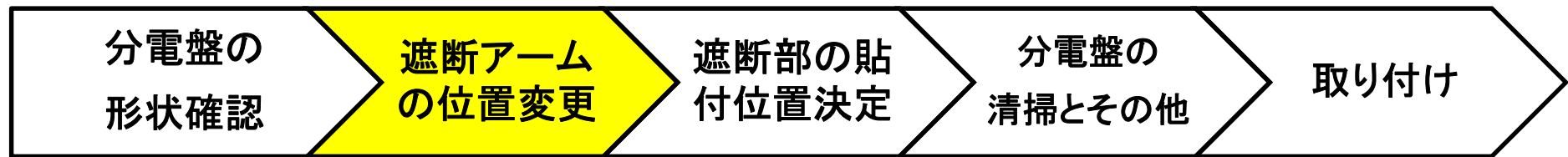
取り付け



設置イメージ

取り付ける分電盤の漏電ブレーカーは、分電盤表面と同じ面でレバーが出ていないことを確認します。

【遮断アームの位置変更】



分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

取り付け



ABCDいずれのタイプの方もまず初めに遮断部を取り出して図のように遮断部の底面部分を「カチッ」と音がするまで押し込みます。

分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

取り付け

調整レバー

遮断アーム

アームの調節については、底面部分が押し込まれている状態で図のように右手側の調整レバーを押し下げながら、遮断アームを矢印のように位置を調整します。

分電盤の
形状確認

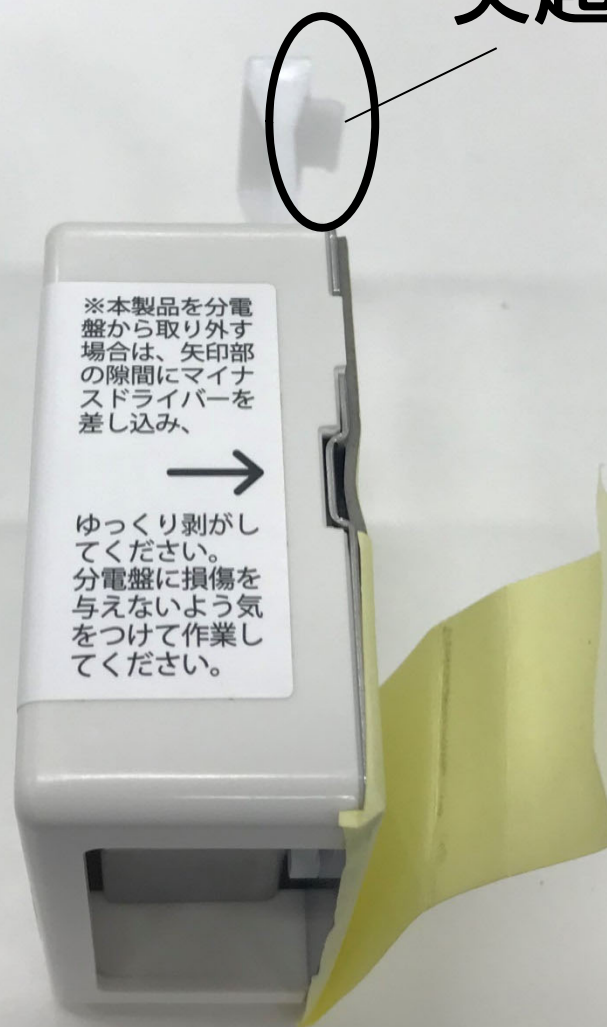
遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

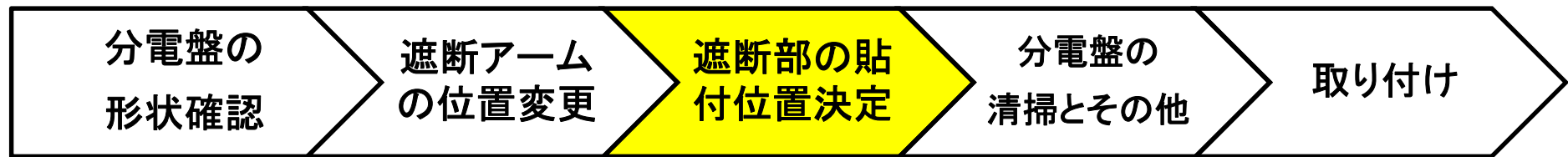
取り付け

突起部



アームを抜き取りアームの突起部が、図のようになるよう挿し込みます。

【遮断貼付位置の決定】



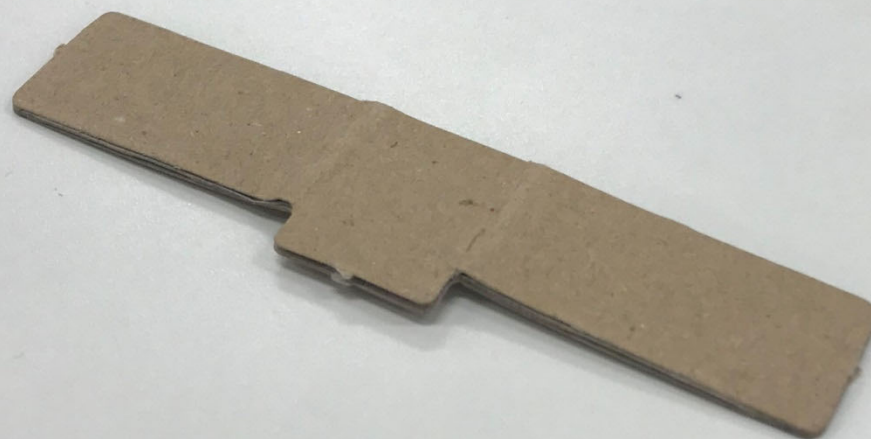
分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

取り付け



次に遮断部の貼付位置を決める作業に移ります。
まずは、箱(袋)から設置台紙を取り出してください。

分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

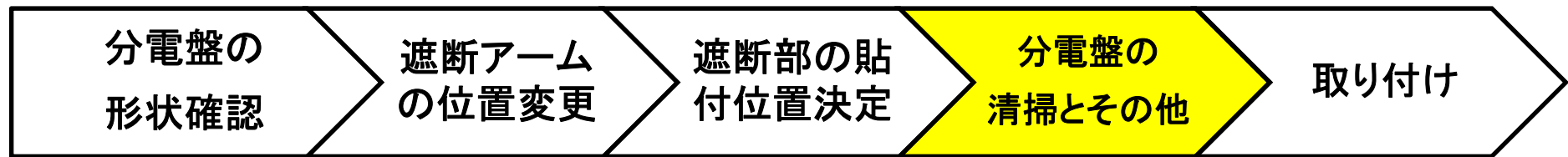
分電盤の
清掃とその他

取り付け



はじめに設置台紙を折ってください。
次に遮断部を準備し設置台紙を図のようにはめ込んでください。

【分電盤の清掃とその他】



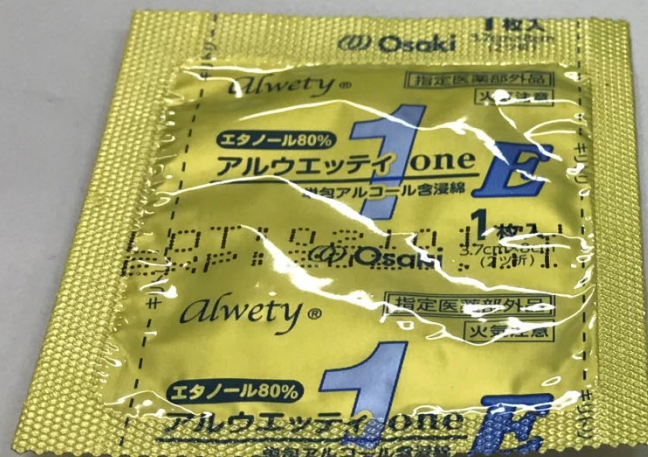
分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

取り付け



次に、分電盤の清掃とその他の作業を行います。
はじめに箱からアルコールシートを分電盤パネルを取り出します。

分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

取り付け

主幹ブレーカ

AC100/200V
40A

漏電・過電圧表示
動作時 白→黄

テストボタン
押して動作
の確認を
してください

〈切〉〈入〉

ご注意

ブレーカを日常の
スイッチとして使用
しないでください。

AC100V
20A

AC100V
20A

AC100/200V
20A

洋室
1

洋室
2

トイレ

アルコールシートを取り出して遮断部が貼りつけられる付近全体のホコリ等を取り除きます。

※アルコールシートはエタノールを使用しておりますので、肌が弱い方はご注意ください。

分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

取り付け

主幹ブレーカ

AC100/200V
40A

漏電・過電圧表示▲
動作時 白→黄

テストボタン
押して動作
の確認をし
てください▶



ご注意
ブレーカを日常の
スイッチとして使用
しないでください。

AC100V
20A

AC100V
20A

AC100/200V
20A

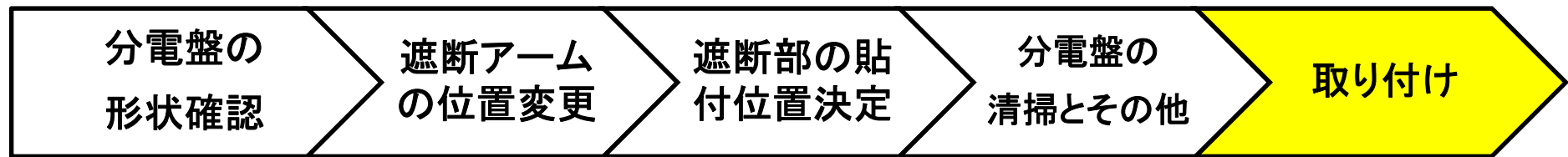
洋室
1

洋室
2

トイレ

分電盤の正面パネルの補強を行うために、図のように正面パネルの境目の上下中央付近2ヶ所にパネル押さえを貼り付けます。

【取り付け】



分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

取り付け

スイッチとして使用
しないでください。



ピオマ 感震ブレーカー 生方製作所
(遮断部) 型番: UGU6 0120-279-170

復帰方法

- ①底面の金属部を押し上げセット後、ブレーカーを上げる。
 - ②ケーブル接続先のテストボタン長押しで動作点検し、点検後は①の操作で使用を再開する
- ※復帰出来ない場合は、応急処置として左のコネクタを抜いて①を実施し、お客様ご相談窓口までご連絡ください。

<http://pioma.jp/ugu6/manual.html>

取扱説明書を
よく読んで、
正しく取り付け
てください



図のように分電盤にあてがい取り付け位置の確認をします。
接着面の半分以上が分電盤のパネルに貼りつけられるように、
遮断アームの位置を調整します。

分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

取り付け



貼り付け位置の確認が出来たら、図のように遮断部裏面上部の剥離紙のみを剥がします。※このとき、下の長い方の剥離紙は剥がさないよう注意してください。

分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

取り付け

スイッチとして使用
しないでください。

漏電・過電圧表示 ▲
動作時 白→黄

トボタン
で動作
確認し
ださい

ピオマ 感震ブレーカー 生方製作所
〈遮断部〉 型番：UGU6 0120-279-170

復帰方法

- ①底面の金属部を押し上げセット後、ブレーカーを上げる。
 - ②ケーブル接続先のテストボタン長押しで動作点検し、点検後は①の操作で使用を再開する
- ※復帰出来ない場合は、応急処置として左のコネクタを抜いて①を実施し、お客様ご相談窓口までご連絡ください。

<http://pioma.jp/ugu6/manual.html>

取扱説明書を
よく読んで、
正しく取り付け
てください



剥離紙を剥がし終えたらタイプ別に確認した取り付け位置に合わせて貼り付けます。分電盤に軽く押し当てて貼り付けてください。

分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

取り付け

注意
日常の
として使用
しないでください。

このあたりを5回ほど
押し込みます

ピオマ 感震ブレーカー 生方製作所
〈遮断部〉 型番 UGN6 0120-279-170

復帰方法

- ①底面の金属部を押し上げセット後、ブレーカーを上げる。
 - ②ケーブル接続先のテストボタン長押しで動作点検し、点検後は①の操作で使用を再開する
- ※復帰出来ない場合は、応急処置として左のコネクタを抜いて①を実施し、お客様ご相談窓口までご連絡ください。

<http://pioma.jp/ugu6/manual.html>

取扱説明書を
よく読んで、
正しく取り付け
てください

最後に本固定の作業です。
図のように右側に出ている剥離紙を外側へ引っ張り剥がしてください。
その後、遮断部中央部分を5回ほど強く分電盤に押し込んでください。

分電盤の
形状確認

遮断アーム
の位置変更

遮断部の貼
付位置決定

分電盤の
清掃とその他

取り付け

ご注意
ブレーカを日常の
スイッチとして使用
しないでください。

外してください

ピオマ 感震ブレーカー 生方製作所
〈遮断部〉 型番：UGU6 0120-279-170

復帰方法

- ①底面の金属部を押し上げセット後、ブレーカーを上げる。
 - ②ケーブル接続先のテストボタン長押しで動作点検し、点検後は①の操作で使用を再開する
- ※復帰出来ない場合は、応急処置として左のコネクタを抜いて①を実施し、お客様ご相談窓口までご連絡ください。

<http://pioma.jp/ugu6/manual.html>

取扱説明書を
よく読んで、
正しく取り付
けてください



遮断アームに付いている設置台紙を抜きます。
強く引っ張ると、位置が変わるまたはブレーカーを遮断してしまうため
ゆっくりと引っ張ってください。抜きとったら遮断部取り付けの完了です。